

晩夏

の茶道具

晩夏の展示会のご案内

令和七年八月二十二日(金)

八月二十四日(日)

午前十時～午後五時



宮原

新古茶道具

新古茶道具宮原の宮原と申します。

平素はご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

また初めてカタログを手に取っていただきました方も、お読みいただき誠にありがとうございます。

当店は、古儀茶道藪内流の茶道具を中心に扱う茶道具店でございます。もちろん他流のお客さまにも楽しんでいただけますよう誠意努力させていただきますので、何卒御用命のほどよろしく願いいたします。

カタログ内に気になるお道具がございましたら、電話(ショートメールも可)、メールなどにてご連絡くださいませ。

ご連絡いただいた商品から対応させていただきます。

また下記地図店舗にて展示会を開催しております。カタログに載っていない藪内流の道具も多く展示しておりますのでぜひご来店くださいませ。

晩夏の展示会 開催日時: 令和7年 8月22日～24日 10時～17時

お忙しい日時日程の事かとは思いますが、よろしければ足をお運びください。

店主は所用にて不在ではございますが、店頭の者に気兼ねなくことづけて頂ければ

幸いです。暑い夏が続きますどうぞご自愛くださいませ。

	赤織部平茶碗 加藤弥右衛門作 美濃焼の陶工である加藤十右衛門の子である加藤弥右衛門作の赤織部平茶碗になります。赤織部は織部焼の一種で赤い素地に白泥で文様を描きさらに鉄絵具で線描きを施すのが特徴です。 共箱 縦約14.5cm 横約16.5cm 高さ約6.5cm ¥25,000(税込)
--	--

	仁清写卯ノ絵茶碗 平安美晴作 仁清写しの卯ノ絵茶碗で京焼の陶工である佐本美晴作になります。躍動感のある可愛い兎の絵付けで秋の月の美しい季節などにもお使いいただけます。 共箱 直径約9.5cm 高さ約8.5cm ¥28,000(税込)
--	---

	金彩竹の絵茶碗 猗々斎在判・箱 藪内流12代猗々斎宗匠の好みの金彩竹の絵茶碗で猗々斎宗匠の在判もあります。京焼の陶彩の作。 共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm ¥38,000(税込)
--	--

	光悦写鹿の絵茶碗 永楽即全作 猗々斎歌添え 光悦写しの鹿の絵が描かれた楽土のお茶碗で藪内流猗々斎宗匠が箱に「ながれよる落ち葉の色もさまざまに池のひぐちは麗しくして」と歌を添えられています。16代永楽善五郎全の作。 共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm ¥68,000(税込)
--	---

	朝日焼橋の絵茶碗 透月斎箱 京都の宇治の焼き物である朝日焼の橋の絵筒茶碗で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。藪内流でもよく用いられる橋柳の絵柄も宇治橋をモチーフにしており橋の意匠は古くから用いられています。 共箱 直径約11cm 高さ約8.5cm ¥100,000(税込)
--	--

	刷毛目数茶碗 10客 加藤保美作の刷毛目数茶碗になります。少し鉢開きの口径の広い数茶碗になります。 共箱 直径約13cm 高さ約5.5cm ¥30,000(税込)
--	--

	仁清写露芝平茶碗 通次阿山作 仁清写しの露芝画平茶碗で京焼の通次阿山作になります。露芝（つゆしば）とは芝生に露が降りた様子を模様化したものです。三日月形の芝草に丸い露の玉を配した夏の意匠になります。 共箱 直径約14cm 高さ約5.5cm ¥30,000(税込)
--	--

	仁清写万寿菊絵茶碗 大谷尊由画 妙全作 仁清写の万寿菊画の茶碗で14代永楽善五郎妙全の作となっております。西本願寺の僧で藪内流11代透月斎宗匠の門下である大谷尊由の絵付けになります。16代永楽善五郎即全の識箱。 識箱 直径約13cm 高さ約7cm ¥80,000(税込)
--	--

	紅葉絵茶碗 永楽正全作 透月斎箱 15代永楽善五郎正全作の紅葉絵茶碗で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。秋のお茶会では大変重宝していただけ一碗かと思います。 共箱 直径約12.5cm 高さ約6.5cm ¥68,000(税込)
--	--

	萩焼切高台茶碗 萩焼の切高台茶碗となっております。萩焼の特徴として挙げられやすい切高台ですが全ての物にある、というわけでもなくまたその理由も諸説が多く現在のははっきりしていないようです 桐箱 直径約14cm 高さ約8.5cm ¥60,000(税込)
--	---

	出雲焼刷毛目茶碗 銘「銀波」透月斎箱 出雲焼の刷毛目茶碗で藪内流11代透月斎宗匠が銘を「銀波」とされています。刷毛目の流れる様子を飛沫を上げる波に見立てて付けられた銘かと思われます。 共箱 直径約15cm 高さ約6.5cm ¥85,000(税込)
--	--

	朝日窯風神文字茶碗 透月斎箱 藪内流11代透月斎宗匠が「風神」の文字を揮毫された朝日焼のお茶碗になります。轆轤目がきれいに入った一碗です。窯傷があります。 共箱 直径約14cm 高さ約8cm ¥120,000(税込)
--	---

	紅葉絵赤楽茶碗 清水六兵衛作 紅葉絵の描かれた赤楽の茶碗で京焼の陶工である清水六兵衛の作となっております。六兵衛らしいへら目の強い赤楽です。時代の杉箱で「東山茶寮」の印がされています。 木箱 直径約12.5cm 高さ約7cm ¥30,000(税込)
---	---

	出雲焼茶碗 銘「常盤木」透月斎箱 出雲焼の伊羅保写し茶碗で藪内流11代透月斎宗匠の箱で銘を「常盤木」となっております。常盤木とは松などの常緑樹を指します。年中、葉が繁っている姿は生命力や長寿の象徴でもあります。 共箱 直径約6.5cm 高さ約13cm ¥75,000(税込)
--	--

	志野茶碗 銘「窓の月」透月斎箱 志野焼の茶碗で藪内流11代透月斎宗匠が銘を「窓の月」とされています。志野茶碗は鉄絵の描かれたものが多くみられますがこちらは白釉と嵌入のみの無地志野です。「窓の月」は窓から月が照っている風情のある様子をさし、万葉集や方丈記などにも用いられた言葉です。 共箱 直径約13cm 高さ約7.5cm ¥88,000(税込)
---	---

	三田青磁平茶碗 銘「青蕙」透月斎箱 三田青磁の平茶碗で藪内流11代透月斎宗匠の箱で銘を「青蕙」とされています。「青蕙」とは七島蘭（しちとうい）という植物で織られた畳表、または青い色の残る新しい藁で作られたむしろを指します。 共箱 直径約13.5cm 高さ約5.5cm ¥100,000(税込)
--	---

	初代大樋茶碗 銘「濡れ烏」竹翁箱 藪内流7代桂隠斎竹翁が初代大樋茶碗とされている一碗で銘を「濡れ烏」とされています。大樋の黒に光沢のある釉薬からその銘とされたのでしょうか。大樋の茶碗としては薄造りになるかと思われます。 共箱 直径約11.5cm 高さ約8cm ¥140,000(税込)
--	---

	奥高麗茶碗 透月斎歌添・箱 藪内流11代透月斎宗匠が奥高麗茶碗と箱をかかれ蓋裏に「穂ぞいでて 秋葉隠れの 鶉かな」と歌が添えられています。奥高麗茶碗は井戸、熊川、呉器、柿の蒂などの高麗茶碗を手本とし、最初から抹茶碗として作られた古唐津の無地茶碗とされています。 共箱 直径約15.5cm 高さ約7.5cm ¥400,000(税込)
--	--

	刷毛目沓三島茶碗 真清水蔵六作 京焼の陶工である真清水蔵六作の刷毛目三島茶碗です。少し四方形に近い沓形をしています。窯傷あり。 共箱 縦約14.5cm 横約13.5cm 高さ約7.5cm ¥25,000(税込)
--	--

	天目形黒茶碗 仁阿弥道八作 天目形の黒茶碗で京焼の名工、2代高橋道八の作となっております。2代道八は仁和寺の宮様から「法橋」と「仁」（あるいは「仁阿」とも）の字を賜り、醍醐寺三宝院の宮様から「阿弥」の号を賜り、仁阿弥と号し仁阿弥道八とも呼ばれました。3代道八の識箱になります。 共箱 直径約12cm 高さ約8cm ¥100,000(税込)
---	--

	秋草絵茶碗 高橋道八作 休々斎箱 京焼の陶工である高橋道八作の秋草絵茶碗で藪内流10代の休々斎宗匠の箱となっております。多種の秋草の描かれた美しいお茶碗です。 共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm ¥120,000(税込)
--	---

	赤楽茶碗 銘「三笑」小川長楽作 休々斎箱 楽焼の陶工である小川長楽作の赤楽茶碗で藪内流10代の休々斎宗匠が銘を「三笑」とされています。2代小川長楽の落款が三つ押されており虎溪三笑の故事から付けられたであろう楽しい銘です。 共箱 直径約12.5cm 高さ約8cm ¥85,000(税込)
---	---

	御本堅手茶碗 銘「池ら氷」竹猗箱 藪内流8代真々斎竹猗宗匠の箱の御本堅手茶碗で銘を「池ら氷（うすらい）」とされた一碗です。「池ら氷」は、水面に張った薄い氷のことで薄くて壊れやすい氷を指す言葉です。きつく入った嵌入がひび割れた氷にみえます。 共箱 直径約16.5cm 高さ約6.5cm ¥250,000(税込)
---	---

	露山窯手造茶碗 銘「滴翠」透月斎箱 藪内流11代透月斎宗匠手造りの露山焼のお茶碗で銘を「滴翠」とされています。西本願寺法主第十九世本如上人の御庭焼。本如上人の命で清閑寺の裏山采嶺溪に仁阿弥道八が文政七年に開窯した焼き物でのちに楽家11代の慶入も手がけています。こちらは慶入の焼きであろう物で、透月斎の彫印もあります。 共箱 直径約12cm 高さ約6cm ¥380,000(税込)
---	--

	柳蒔絵平棗 喜峰作 金彩の美しい柳蒔絵の平棗で輪島塗の塗師である荒井喜峰の作となっております。 共箱 直径約6cm 高さ約8.5cm ¥25,000(税込)
---	---

	兎に芒蒔絵中棗 宗凌作 山中塗の蒔絵師である田中宗凌作の兎に芒蒔絵中棗になります。躍動感のある兎の蒔絵が可愛らしい棗です。 共箱 直径約7cm 高さ約6.5cm ¥30,000(税込)
--	---

	根来塗菊彫茶入 象彦作 根来塗の菊彫り茶入（茶器）で平安象彦の作になります。小ぶりで細身の茶器で秋の道具の取り合わせにお使いいただけます。 共箱 直径約5.5cm 高さ約7cm ¥30,000(税込)
---	---

	独楽塗棗 猗々斎在判・箱 藪内流12代猗々斎宗匠好みの独楽塗り棗で藪内流の塗師である橋口宗栄の作となっております。色味が美しい独楽の棗で勢い良く回るさまは縁起物としても用いられます。 共箱 直径約6.5cm 高さ約6.5cm ¥85,000(税込)
--	---

	朱竹絵中棗 飛来一閑作 透月斎在判 朱竹絵中棗で一閑張りの塗師である飛来一閑の作となっております。朱竹とは縁起の良いとされる竹の一種で、旧くは中国の延平山に生える赤い竹とされ珍重されてきました。特に「福德」「寿徳」「財徳」の三徳を宿すとされ金運や商売繁盛を象徴すると言われています。棗の蓋裏に透月斎宗匠の在判。 共箱 直径約7cm 高さ約6.5cm ¥100,000(税込)
--	--

	休々斎好「心與月俱静」文字棗 遠坂宗仙作 藪内流10代休々斎宗匠の好みの文字棗で旧くは藪内流の塗師であった遠坂宗仙の作となっております。心與月俱静とは「心は月と共に静か。」と読み「心は月と共に静閑である」、月を眺めながら心静かに自分を見つめていたいと願う言葉のようです。中次の様に立上りが大きく独特な形状で棗の底に休々斎宗匠の在判があります。 共箱 直径約7cm 高さ約7.5cm ¥150,000(税込)
--	--

	竹茶器 藪内節庵箱 藪内流9代宝林斎の次男で10代休々斎の養子となった藪内節庵の箱の竹茶器になります。粗野な趣の中に溜塗で見て取れる竹の節中の味わいや朱の一線が潔さも感じさせます。 共箱 直径約7cm 高さ約7cm ¥40,000(税込)
--	--

	秋草蒔絵棗 大谷尊由画・箱 浄土真宗本願寺派の僧侶で西本願寺21世光尊(明如上人)の四男。22世光瑞(鏡如上人)の弟である大谷尊由筆の秋草蒔絵の木地棗になります。大谷尊由は茶を透月斎宗匠、絵を日本画家の井口華秋に師事しました。女郎花や芒などが描かれた木地棗で大変薄造りの良作です。底に尊由の花押で金泥で押されています。 共箱 直径約6.5cm 高さ約6.5cm ¥150,000(税込)
---	--

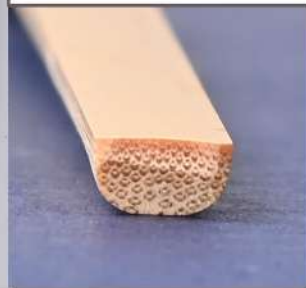
	膳所焼茶入 透月斎箱 膳所焼の茶入で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。肩のあまり張っていない芋の子形で鉄釉の光沢が美しいお茶入れです。 共箱 直径約6cm 高さ約8.5cm ¥88,000(税込)
--	--

	唐物瓢茶入 銘「張果老」透月斎箱 唐物瓢の茶入で藪内流11代透月斎宗匠が銘を「張果老」とされています。「張果老」とは中国の伝説上の人物で八仙の一人として知られています。特に、白い口バに乗って移動し休む際には口バを折りたたんで瓢箪にしまうという逸話が有名で日本ではそれが瓢箪から駒の語源となったといわれています。景色のある瓢箪でその様に比べてとても軽いので驚かされます。 共箱 直径約8.5cm 高さ約9cm ¥100,000(税込)
---	---

	古丹波茶入 銘「翁」透月斎箱 古丹波の茶入で藪内流11代の透月斎宗匠が銘を「翁」とされています。「翁（おきな）」の銘の茶道具は多くありますがやはり能演目の「翁」から取られているようで長寿、平穩無事、五穀豊穡、家門繁栄、子孫繁栄などを願う意味合いを持つとされ、おめでたい席で演じられる祝福の舞として茶道具にも取り入れられています。 共箱 直径約8cm 高さ約7.5cm ¥120,000(税込)
---	---

	米市手茶入 銘「福の神」竹翁箱 藪内流7代桂隠斎竹翁宗匠が「福の神」と名を付けられた瀬戸の米市手茶入れになります。米市手とは中興名物の破風窯茶入を本歌を持とし形が米市狂言の俵に似ているのでこのように名付けられました。甕際は凹み、肩は張りりと可愛らしい姿をしています。俵の形を見て取り付けられた銘ではないでしょうか。造りも次第もよいお茶入れです。 共箱 直径約7cm 高さ約8cm ¥250,000(税込)
---	---

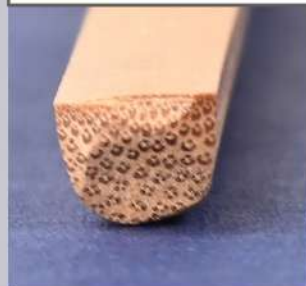
長谷川大真和尚作茶杓 銘「香散見草」



大徳寺三玄院長谷川大真和尚作の茶杓で銘を「香散見草」となっております。「香散見草（かざみぐさ）」は、梅の花の異名です。特にその香りが良いことから、春の訪れを告げる花として古くから親しまれてきました。

共箱 高さ約18.5cm
¥30,000(税込)

青々斎作茶杓 銘「千歳之友」



藪内流13代青々斎宗匠作の茶杓で銘を「千歳之友」とされています。長い間一緒にいる友人とのお茶を楽しむ銘のお茶杓です。

共箱 高さ約18.5cm
¥68,000(税込)

猗々斎作茶杓 銘「千代の友」



藪内流12代猗々斎宗匠作の茶杓で銘を「千代の友」とされています。猗々斎宗匠らしいおっとりとした樋の美杓になります。

共箱 高さ約18.5cm
¥85,000(税込)

猗々斎作茶杓 銘「花たちばな」



藪内流12代猗々斎宗匠作の茶杓で銘を「花たちばな」とされています。胡麻竹の茶杓です。

共箱 高さ約18.5cm
¥88,000(税込)

休々斎作茶杓 銘「若緑」猗々斎箱



藪内流10代休々斎宗匠作の茶杓で銘を「若緑」とされています。休々斎宗匠の友筒に猗々斎宗匠が箱を補完されており、茶杓の樋裏には松葉蒔絵がなされています。藪内流のお家元のお茶杓では珍しい物になります。

共箱 高さ約18cm
¥138,000(税込)

桂隠斎作茶杓 銘「十八公」



藪内流7代桂隠斎竹翁宗匠作のお茶杓で銘を「十八公」とされています。「十八公」とは松のことを指し、松の字を分解した際に見られる字の羅列になります。一部が胡麻竹の珍しい竹を使ったお茶杓です。

共箱 高さ約18.5cm
¥150,000(税込)

雲龍釜 浄味作 透月斎箱



雲龍釜で名越浄味作と藪内流11代透月斎宗匠が箱書きをされています。名越浄味とは名越家の11代で江戸初期に活躍した釜師になります。小ぶりの雲龍釜です。

共箱 直径約10cm 高さ約17.5cm
¥88,000(税込)

姥口広口釜 西村道爺作 透月斎箱



姥口の広口釜で藪内流11代透月斎宗匠が西村道爺作と箱書きをされています。西村道爺とは西村家4代で江戸中期に活躍した釜師になります。道爺の釜は釜肌は荒肌が主で落ち着いた地紋などの少ない作振りが多くみられます。

共箱 直径約23.5cm 高さ約24.5cm
¥120,000(税込)

肩衝丸釜 大西浄雪作 猗々斎箱



肩衝丸釜で大西浄雪作と藪内流12代猗々斎宗匠が箱書きをされています。阿弥陀堂釜にも近い形状で柚子肌の細かい釜になります。大西浄雪は大西家10代で江戸後期に活躍した釜師になります。

共箱 直径約23cm 高さ約24.5cm
¥100,000(税込)

芦屋写浜松文真形釜添唐銅朝鮮風炉 加藤了三作



芦屋写の浜松文真形釜の添えられた唐銅朝鮮風炉になります。尾張徳川藩の御用を承る御用窯師として茶釜の鋳造をしてきた加藤忠三郎家の加藤了三の作となっております。

共箱 直径約31cm 高さ約33cm
¥100,000(税込)

切合万字唐銅朝鮮風炉 宮崎寒薙作



切合せ卍地紋の唐銅朝鮮風炉釜で宮崎寒薙の作となっております。肩の張った時代のある唐銅の風炉に卍地紋の丸釜が添えられています。大西清右衛門の識箱。

識箱 直径約28cm 高さ約31.2cm
¥100,000(税込)

桑木地炉板



桑木地の炉板になります。藪内流では風炉の季節になると畳み替えを行い炉を塞ぐことは少なく、炉板を用いて炉を塞ぐことが主になります。

紙箱 縦約42.5cm 横約42cm 高さ約6.5cm
¥25,000(税込)

高取焼一重口水指 高取貴恵作



高取焼の一重口水指で高取焼高取八仙の妻である高取貴恵の作になります。高取焼は福岡を中心に焼かれた焼き物で遠州七窯の一つに数えられます。

共箱 直径約17cm 高さ約17cm
¥20,000(税込)

伝来形写抱桶水指 豊田木元作 青々斎箱



藪内流伝来形の抱桶水指の写しで陶芸家の豊田木元の作になります。抱桶は旧くは水の中に入れ抱くようにして涼をとったものといわれており、足利義政が所持したものが三条西実隆から藪内宗把に伝わって宗把から利休、利休から藪内剣仲が引き継ぎ、燕庵名物として六代比老斎まで伝来しましたが、西本願寺文如上人に贈られ、以後は本願寺に伝えられたといえます。

共箱 直径約16cm 高さ約21.5cm ¥58,000(税込)

瓔珞文染付平水指



瓔珞文の染付水指です。下部のほうが小さくなっている平水指で「瓔珞文（ようらくもん）」とはインドの上流階級の人々が身につけていた装飾品を文様にしたものといわれています。

桐箱 直径約22cm 高さ約11.5cm
¥50,000(税込)

染付四君子文様水指 華中亭道八作



染付四君子文様水指で高橋道八の作となっております。四君子模様とは蘭、竹、梅、菊の4つの植物を組み合わせた吉祥文様のことです。それぞれの植物が持つ高潔な性質から、人格者を表す「君子」に例えられおめでたい柄として尊ばれています。

箱なし 直径約14cm 高さ約15.5cm
¥80,000(税込)

備前沓水指 猗々斎箱



備前の沓形水指で藪内流12代猗々斎宗匠の箱となっております。口元のひしゃげた部分が特徴的でそこに合わせて塗り蓋が作られています。備前の堂々とした水指で小間の一つ置きにも、山里棚などの木地棚にも映えます。前面右個所は窯傷を補修した物です。

共箱 縦約18.5cm 横約20.5cm 高さ約14.5cm
¥120,000(税込)

赤膚焼耳付水指 奥田木白作 透月斎箱



藪内流11代透月斎宗匠の箱の赤膚焼耳付水指で奥田木白作とされています。鉄釉の濃淡のある水指で近代アートのような存在感もあります。奥田木白は、江戸末期から明治初頭に活躍した陶芸家で赤膚焼中興の祖と呼ばれる名工です。

共箱 直径約16.5cm 高さ約18.5cm
¥120,000(税込)

刷毛目平水指（鉢） 清水六兵衛作



刷毛目の平鉢で京焼の陶工である清水六兵衛の作となっております。口造りに合わせて塗り蓋が作られており、平水指としてもお使いいただけます。

共箱 直径約21cm 高さ約11cm
¥25,000(税込)

金欄手赤絵水指 豊田木元作



金欄での赤絵水指で陶芸家の豊田木元の作となっております。側面には金彩で鶴、内側には色絵で亀の絵が描かれています。粉目の蓋が添っており口径も広く長板によく映える平水指です。

紙箱 直径約24cm 高さ約10.5cm
¥28,000(税込)

伊万里焼染付平水指



伊万里の草花文様の蓋物で塗り蓋も添えられ水指としてもお使いいただけます。呉須の青の釉薬が涼しげです。

桐箱 直径約22cm 高さ約18cm
¥50,000(税込)

瀬戸捻貫水指 加藤麦袋作 透月斎箱



瀬戸の名工である加藤麦袋作の捻貫水指になります。捻貫とは、胴に螺旋状の凹凸をつけたものをいい利休所持の名品も残っている古くから伝わる形状です。藪内流11代透月斎宗匠の箱。

共箱 直径約14cm 高さ約16cm
¥80,000(税込)

新渡染付梅紋水指



新渡（しんと）の染付梅紋水指になります。新渡とは江戸後期頃、中国清王朝後期に景德鎮窯で作られた日本向けの染付になります。為の塗りの替え蓋も添えられており状態も良いです。

塗箱 直径約23cm 高さ約17cm
¥150,000(税込)

抱桶水指 金谷五良三郎作



京都の鋳物師である金谷五良三郎作の叩き出しの抱桶水指になります。赤銅の抱桶水指でこの色は初代金屋五郎三郎が得意とした銅器着色法を工夫した緋銅色で特に称賛を博し「五良三色」と言われるようになりました。

共箱 直径約16.5cm 高さ約21.5cm
¥120,000(税込)

「和楽」小品軸装 猗々斎筆



「宜雨宣風」笹画讃 青々斎筆



納涼 歌短冊 日野資枝筆



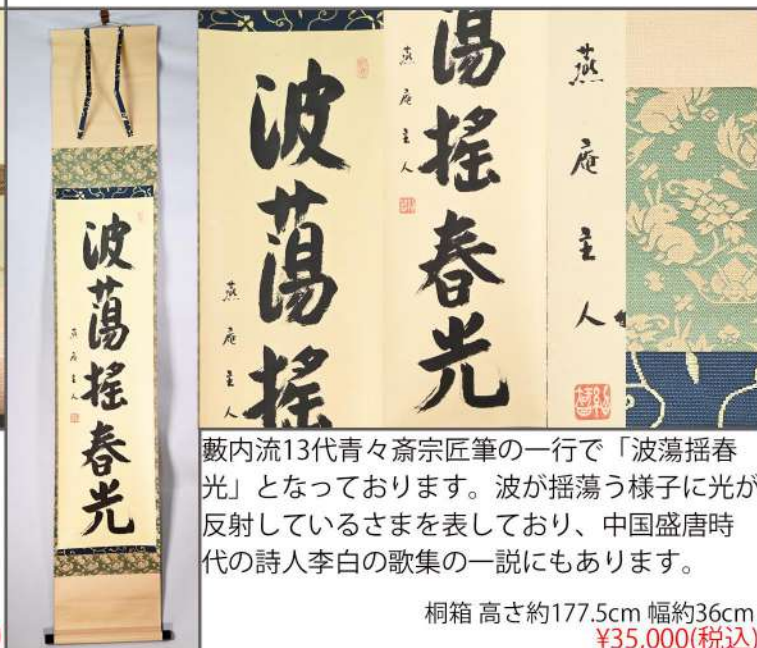
冬日詠時雨 和歌 日野資枝筆



「秋菊有佳色」一行 林焦庵筆



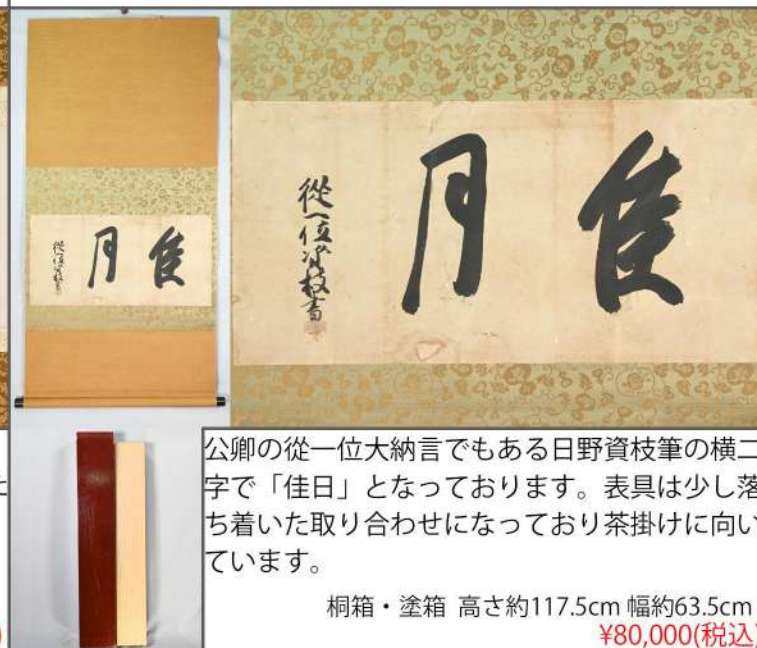
「波蕩揺春光」一行 青々斎筆



寒牡丹画讃 日野資枝賛 抱一画



「佳日」横書 日野資枝筆



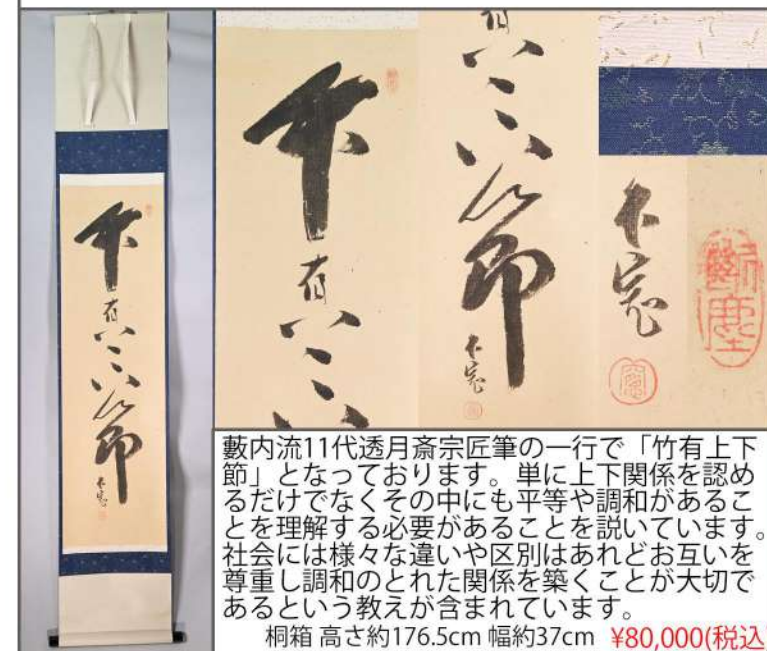
「秋色静中生」一行 透月斎筆



「一葉落天下秋」一行 透月斎筆



「竹有上下節」一行 透月斎筆



「峯頂一輪秋」一行 宙宝和尚筆

